

3月30日：ひとりひとりのためのニュース

No. 8

発行：社会福祉法人くわの福祉会
特別養護老人ホームおおつき内

今週に入り春の暖かさを感じながら、高く青い空や雪化粧がとけ始めている山々を見ることができます。目の前の出来事に夢中になりすぎて視線がだんだん下へ下へと向かいがちでしたが、視線を前に向けて、上に向けて着実に復興へと歩んでいます。そしてこれから桜も咲きますし、最近の大自然は優しくてやわらかいような気がしませんか？

① 避難者受け入れの事務処理を進めています

～特養おおつき生活相談員の対応～

◆特養おおつきの生活相談員の鈴木景子さんは、日頃より特養入所者の事務手続きを一手に担って業務に当たっています。入所申し込みから入所対象者の実態調査、ご家族との連携・相談業務、各種資格証明書などの代行手続きなどなど。特養おおつきには 80 名の特養入所者がいます。しかし、この度の震災で富岡町のたてやま荘から 11 名の利用者を特養で受け入れました。そしてその 11 名の方々の利用状況を各保険者の町村(3 か所の)役場の担当者と連絡を取り調整を行なうことが新たな業務として加わりました。

鈴木景子さんは「なかなか役場の方と直接話ができる様子ではないですね。メモを残して先方は誰がどこに避難しているのかの安否確認だけで精いっぱいの様子が伝わってきます。こちらの要望(保険請求等)に対しては時間がかかりそうです。」と避難地域の役場が十分に機能していない様子を伝えてくれました。「その中で生活保護の方 2 名を受け入れているので、社会保険事務所にも掛け合っています。」とも。返答が届くのはいつのことやら・・・。

また、特養おおつきでは通常よりも 11 名多い利用者の方の支援を行なっています。そして 4 月からまた新たに 1 名の正式な入居者を迎え入れます。「特養は現状でも精一杯のはずですが、また 1 名入居を受け入れられる環境の職場に脱帽です。」と鈴木さんは特養定数オーバーの現状を職員みんなで乗り越えていこうと自分の役目をしっかりと続けて前へ進めています。

11名の保険者とは何とか連絡をつけたいですけど・・・。不安ですね。



② 避難所からデイを利用 ～避難所生活の実態～

◆今日から大槻ふれあいセンターから新規のデイサービス利用者を受け入れました。ご利用者の男性(68)は障害 1 級で要介護 2 です。妻と二人暮らしで自宅アパートで被災されました。男性は車いす生活で自宅から避難するために夕方まで妻とともに避難所を探し回りました。やっとの思いで大槻ふれあいセンターで避難生活を始めましたが、初めは 30 人弱だった避難者が 200 人近くまで増えてきました。食事は 2 日前のくらいのポロポロのおにぎりや、甘い菓子パンばかりが続きました。暖を取る灯油も避難 3 日目には灯油不足のため毛布に切り替えられ、入浴は避難してから一度もできない状況でした。

今回デイサービスを週 2 回ご利用の予定です。「暖かい食事と、一番は何と言ってもお風呂に入れることが良かった。気持ちが洗われる感じです。水の大切さが身にしみます。」とご利用にはご満悦。今日はテレビを見て過ごされました。当分は避難所からの通いとなりますが「お風呂が直ればいつでも自宅へ帰るよ」と気持ちは前向きです。

③ 父親が助けに行きました。 ～おおつき職員の姉の救出劇～

◆来年度特養おおつきに入職される5名の中のひとりである佐藤美菜さんは会津只見町の出身です。特養おおつきに勤めはじめて1カ月が経とうとしていますが、この被災では劇的な出来事が起きていました。

美菜さんの姉は宮城県石巻市で勤務していました。そして職場で被災され、津波の影響もあり職場は壊滅状態。地域の避難所へ逃げたそうです。そして三陸沖の現状をニュースで聞いた父親が一目散に娘の元へ向かいました。まだライフラインも復旧していない、自衛隊も救助の方々もいない、物資もない状況で市内に入り4日目にして娘と再会できたそうです。「安否確認もできない中で、父は必死になって姉を探して助けることができました。親の行動力には脱帽です。」と美菜さんは話してくれました。現在も美菜さんの姉は自宅の只見町で避難生活を送っています。親子の絆を感じる事ができたようです。

美菜さん自身は「岩手の大学の卒業式は中止になりました。でも、命ある今、親・姉妹がいることに感謝します。私自身も震災当日は、一人暮らしが不安で施設に泊めてもらいました。そして特養おおつきにいても利用者の皆さんから自分が元気ももらっているようにも思えます。」と前向きに仕事に取り組んでいます。



佐藤美菜です

「熱血漢で、すぐ行動してしまいます。それによく笑います。グラグラって。」

④ 今後の動きについて

◆本日郡山医療生協の来年度新入職員の施設見学オリエンテーションが行なわれました。参加者は12名。協力協同の礎としてともに地域に貢献していく仲間となり前進していきましょう。

◆本日夕方より臨時の全体運営会議を実施します。特養定数オーバー、業務正常化に向けての現状とこれからの改善点、請求業務についてなどの確認、協議を進める予定です。

◆現在も救援物資がさまざまところから届いています。昨日は郡山市から野菜が届き、今日も老協協より物資が届く予定になっています。まことにありがとうございます。

●お知らせ●

- ①インフルエンザの流行が続いております。外からの感染を防ぐためにも出入りする職員の皆さん、一人一人意識を持って行動して下さい。施設でのハイポ対応を3月末⇒次回感染対策委員会の日程まで延長することとしました。ご協力よろしく申し上げます。
- ②再度のお知らせです。職員の皆さんが加入している各共済への災害見舞金等の請求については、確認が取れ次第、後日各職場へお知らせします。
- ③念を押して、ガソリンの供給は出来ますので必要時には事務所までご連絡下さい。

発行：福島県郡山市大槻町西勝ノ木5・1

024-962-3939

施設長 菊谷 朗